

第5回「ふね遺産」推薦 練習船・帆船「進徳丸」 別添資料

【進徳丸 主要目】 (練習船進徳丸史, 進徳丸史編集委員会編, 海文堂出版, 1989.6 より 抜粋)

付録1 練習船進徳丸要目

# 付 録

付録1 練習船進徳丸要目

帆船時代 (大13. 2.15)		汽船時代 (昭37. 5. 1)	
設計者	Lamage & Ferguson Co.	帆装撤去年月場所	昭和19年 9. 三菱重工神戸造船所
造船所	三菱造船株式会社	改造年月場所	◇ 22年 5.30 三菱重工神戸造船所
着工年月日	大正12年(1923) 7.28	大改装年月場所	◇ 31年 8.3 日本鋼管浅野ドック
進水	◇ 12. 9		
竣工	大正13年(1924) 2.25		
船舶番号	29796	船舶番号	29796
船名符字	SPMH(建造直後)のちJOYA	船名符字	JEQJ(昭和25年より)
総屯数	2518.42 tons	総屯数	2792.43 tons
純屯数	1173.18 ◇	純屯数	1316.74 ◇
排水屯数	5113.00 (Max draft)	排水屯数	5194.81 ◇
重量屯数	2841.12 (Light draft) 2271.88		
長さ O.A.	109.1 m (358 ft)	長さ O.A.	91.00 m
P.P.	85.34m (280 ft)	P.P.	85.34 m
巾	13.41m (44 ft)	巾	13.41 m
深さ	8.08m (26'-06")	深さ	8.08 m
吃水	最大 6.96m (22'-10") (14'-8")	吃水	6.40 m
船主	文 部 省	船主	運 輸 省
船籍港	神 戸 市	船籍港	東 京 都
船種	補助機関付帆船	船種	汽 船
船質	鋼	船質	鋼
資格	一 級 船	資格	一 級 船
航行区域	遠 洋 区 域	航行区域	遠洋区域国際航海を禁ず
主機関	三段膨脹往復機関 2基	主機関	三段膨脹往復機関 2基
馬力	1250 I. H. P. (625×2)	馬力	1250 I. H. P. (625×2)
缶	片面焚自然通風缶湿燃式円缶×2	缶	片面焚自然通風缶湿燃式円缶×2
燃料	石 炭	燃料	石 炭
燃料(石炭庫)	581.45 tons	燃料(石炭庫)	785.43 T (45 cf/ton)
速力	汽走 10½節	燃料消費量	20 T/day
乗員	士官 16 生徒 120 属員 56	航統距離	5000浬
		速力	最強 9.5 航海 7.5
		乗員	士官 22 生徒 128 属員 50

帆 船 時 代		汽 船 時 代	
帆 装	4 檣 Barquentine		
Number of Sail	23		
Area of Sail	29202 s.t. (811坪)		
Speed under Sail	13 knots (max.)		
Height of Mast	167 ft from upper deck 182 ft from water line cir. 8' - 06"	前 檣	26.4 m × 0.84mφ on well deck
		主 檣	25.84m × 0.68mφ on poop deck
Yard	Lower yard 89', 6' - 06", 3 <sup>1</sup> / <sub>4</sub> ton L. Tops'l yard 84, 2 <sup>1</sup> / <sub>2</sub> ton U. Tops'l yard 78,		
清 水 槽	F. W. 215.43 tons Feed. W. 72.60 ㄉ B. W. 219.76 ㄉ	清 水 槽	513.99 tons
パ ラ ス ト	Pig iron (Single ballast) 507.79 ㄱ	パ ラ ス ト	Pebbles & slug 210.25 ㄱ
主 錨	Trottman's type 2	主 錨	Trottman's type P. 2.48 S. 2.49
錨 鎖	9 shackles each	錨 鎖	9 s.s. 25m 1.58 ㄱ
短 艇	救 命 艇 6 204 pn's Motor cutter 1 30 ㄉ Temma 1 16 ㄉ	短 艇	救 命 艇 6 306 pn's 機 動 艇 1 14 ㄉ 伝 馬 1 20 ㄉ
無 線 設 備	スパーク式送信機 (電源 3 K, A. C. 50V) 2nda ry battery ) 電話 50W	無 線 設 備	主送信機 500W × 2 水晶発振式 受信機 1
航 海 計 器	Sperry gyro compass Mark VI 1 Magnetic compass 5 Sounding machine Kelvin mark IV motor driver 1 Radio goniometer 1 Admiralty type echo sounder 1	航 海 計 器	Gyro Sperry mark 14 Radar Kelvin Hughes

注 (神ト) 神戸大学附属図書館蔵書 (海ト以外)  
 (海ト) 神戸大学附属図書館海事科学分館蔵書  
 (海博) 神戸大学海事科学研究科海事博物館蔵書

【史実関連 図書・文献等リスト】

- 練習船進徳丸史, 進徳丸史編集委員会編, 海文堂出版, 1989.6 (海ト) (海博)
- 財団法人『進徳丸保存会』－設立から解散まで, 進徳丸保存会清算人会編, 1996.12 (海ト) (海博)
- 進徳丸メモリアル (リーフレット), 神戸大学海事科学部, 2005.10 再版 (海博)
- 杉浦昭典, 「巨人 進徳丸」, 柳原良平編集船の雑誌 2.特集世界の保存艦船, 1971, pp68-69. (海ト)
- 練習船進徳丸航海報告 (第1次～第40次), 神戸高等商船学校, 1924～1942 (海ト) (海博)
- Maiden voyage : Shintoku maru, 1924 (海ト)
- 日本船名録, 逓信省, 1928, p159. (海博)
- 創立十五周年記念誌, 神戸高等商船学校, 1935.9 (海ト)
- 神戸高等商船学校一覽, 神戸高等商船学校, 1921～1941 (海ト)
- 神戸高等商船学校練習船進徳丸修業報告, 神戸高等商船学校, 1937 (海ト)
- 全日本商船学校画報, 海と空社, 1938 (海博)
- Kobe Works, Mitsubishi Zosen Kabusikikaisha, 1925, p48. (海博)
- 船舶曳船資料 (旧海軍海防艦「笠戸」を佐世保から神戸に曳航), 航海訓練所, 1948 (海ト)
- 第二百九番船練習船進徳丸完成重量帳, 三菱神戸造船所, 1923 (海ト)
- 船務一班, 神戸高等商船学校練習船進徳丸, 1935.1 (海ト)
- The Training Ship, 練習船進徳丸高船新聞部, 1947 (海ト)
- 練習船進徳丸航海記録 (16mm 映画フィルム), 神戸高等商船学校, 1935-1937 (海博)
- 練習船進徳丸航海記録 (DVD), 神戸高等商船学校, 1935-1937, 2007 複製 (海ト) (海博)
- 折戸日記－高等商船学校生徒の記録－, 川崎景章, 1980 (海ト)
- 卒業四十周年記念誌, 高等商船学校一期会, 1986 (海ト)
- 進徳丸 (VHS), こうべみなと物語 : MBS 特集 1995.6.30 放映, NNN 報道特別番組 1996.1.17 放映, 進徳丸 : サンテレビ 1996.1.26 放映 (海ト)
- 阪神淡路大震災被害写真集 : 進徳丸 (CD-ROM), 神戸商船大学震災研究会, 1996 (海ト)
- 想い出の進徳丸 : 誕生から解体まで (VHS), 神戸商船大学, 1996 (海ト) (海博)
- 本庄村史 (地理編・民俗編), 本庄村史編纂委員会, 2004, pp450-451. (海ト)
- 第四十八回進徳丸, 日本近世造船史, 大正時代附図, 造船協会, 1935 (海ト)
- <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1115824> コマ番号 81 / 90
- 眞鍋大覺, 帆走力と風圧流について : 進徳丸の航海記録から (一), 造船協会誌, Vol.317, 1955, pp.1-4. (海ト)
- [https://www.jstage.jst.go.jp/article/kyokaisi/317/0/317\\_KJ00002225037/\\_article/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/kyokaisi/317/0/317_KJ00002225037/_article/-char/ja)
- 眞鍋大覺, 観測された海洋気象と動搖 : 進徳丸の航海記録から (二), 造船協会誌, Vol.318, 1955, pp.1-5. (海ト)
- [https://www.jstage.jst.go.jp/article/kyokaisi/318/0/318\\_KJ00002225050/\\_article/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/kyokaisi/318/0/318_KJ00002225050/_article/-char/ja)
- 広瀬安美, えほん・コウベ, のじぎく文庫 (初代進徳丸 / (0010.jp2)), 1972 (海ト)
- 正岡勝直, 練習船"進徳丸"--戦火を潜ったその多彩な生涯を思う, 世界の艦船, 1972.8, pp80-81. (海ト)
- 練習船進徳丸史, 世界の艦船, 1989.10, p124. (海ト)
- 解体中の練習船「進徳丸」ありし日の姿, 世界の艦船, 1996.1, p187. (海ト)

上野喜一郎, 進徳丸(神戸高等商船学校,1923年建造), 船舶百年史 前編, 成山堂, 2005.1, p177. (海ト)  
上野喜一郎, 進徳丸(1956年改造), 船舶百年史 後編, 成山堂, 2005.1, p137. (海ト)  
上野喜一郎, 進徳丸, 船の世界史 上巻, 日本図書センター, 2012.6, p173, p241 (海ト)  
練習船進徳丸進水, いまも百舟百千舟: 横濱みなとの唄: 開港150周年記念写真集, 横浜港振興協会, 2009.5, p54.

<https://ndlonline.ndl.go.jp/#!/detail/R300000001-I000010364153-00>

神戸高等商船学校練習船進徳丸, 海の産業戦士: 海国青少年読本, 興亜海事調査所, 1940 (神ト)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1108976?tocOpened=1>

練習船で戦う海へ—進徳丸, 写真週報, 内閣情報部, 1943.7, pp10-11.

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1896527?tocOpened=1>

【気象観測関連 文献リスト (神戸海洋气象台等への協力)】

進徳丸の帰航, 海と空, 海洋気象学会, Vol.4, No.10, 1924.10, p182. (国立国会図書館デジタルコレクション 10.11501/3307403)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3307403/21?tocOpened=1>

須田暁次, 關和男, 進徳丸第一次北太平洋横断特別観測報告, 海洋時報 (神戸海洋气象台), 1929.7, pp21-45.

(国立国会図書館デジタルコレクション 10.11501/1469638) (海ト)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1469638?tocOpened=1>

松平康雄, 進徳丸第十一次遠洋航海路表面水塩分に就て, 海洋時報 (神戸海洋气象台), 1930.12, pp469-472,

(国立国会図書館デジタルコレクション 10.11501/1469643) (海ト)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1469643?tocOpened=1>

松平康雄, 『進徳丸』第十二次北太平洋横断表面水観測, 海洋時報 (神戸海洋气象台), 1932.3, pp667-674,

(国立国会図書館デジタルコレクション 10.11501/1469647) (海ト)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1469647?tocOpened=1>

松平康雄, 『進徳丸』第十三次遠洋航海表面水観測, 海洋時報 (神戸海洋气象台), 1932.11, pp287-290, (国

立国会図書館デジタルコレクション 10.11501/1469648) (海ト)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1469648?tocOpened=1>

松平康雄, 第十四次『進徳丸』遠洋航海路表面水観測, 海洋時報 (神戸海洋气象台), 1932.11, pp291-295,

(国立国会図書館デジタルコレクション 10.11501/1469648) (海ト)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1469648?tocOpened=1>

松平康男, 『進徳丸』第十五次遠洋航海表面水観測結果, 海洋時報 (神戸海洋气象台), 1933.6, pp251-257,

(国立国会図書館デジタルコレクション 10.11501/1469650) (海ト)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1469650?tocOpened=1>

松平康男, 『進徳丸』第十六次及第十七次遠洋航海表面水観測結果, 海洋時報 (神戸海洋气象台), 1933.12,

pp431-438, (国立国会図書館デジタルコレクション 10.11501/1469651) (海ト)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1469651?tocOpened=1>

松平康男, 『進徳丸』第十八次遠洋航海表面水観測報告, 海洋時報 (神戸海洋气象台), 1935.6, pp113-135,

(国立国会図書館デジタルコレクション 10.11501/1469656) (海ト)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1469656?tocOpened=1>

進徳丸表面観測報告— [第二十四~二十六次, 昭和11年(1936)~同12年(1937)], 海洋時報 (神戸海洋气象台),

1938.3, pp469-507, (国立国会図書館デジタルコレクション 10.11501/1469664) (海ト)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1469664?tocOpened=1>

松平康男, 水内松一, 進徳丸遠洋航海表面水観測結果, 海洋時報 (神戸海洋气象台), 1939.3, pp749-777, (国立国会図書館デジタルコレクション 10.11501/1469666) (海ト)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1469666?tocOpened=1>

安井善一, 進徳丸の観測結果から見た北太平洋の風浪及び船体の動揺に就いて, 海洋時報 (神戸海洋气象台), 1939.3, pp779-790, (国立国会図書館デジタルコレクション 10.11501/1469666) (海ト)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1469666?tocOpened=1>

安井善一, 要報 進徳丸の観測結果から見た北太平洋の風浪及び船体の動揺, 海と空, 海洋気象学会, Vol.19, No.9, 1939.9, pp45-51. (国立国会図書館デジタルコレクション 10.11501/3307588) (海ト)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3307588/24>

「進徳丸」第二十九次及第三十次遠洋航海表面水観測報告, 海洋時報 (神戸海洋气象台), 1940.3, pp313-343, (国立国会図書館デジタルコレクション 10.11501/1469668) (海ト)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1469668?tocOpened=1>

松平康男, "進徳丸"第 29, 30, 31 次航海表面水観測結果の報告, 海洋時報 (神戸海洋气象台), 1940.7, pp501-506, (国立国会図書館デジタルコレクション 10.11501/1469669) (海ト)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1469669?tocOpened=1>

進徳丸第三十一次遠洋航海表面水温観測結果一 [昭和 15 年(1940)1~3 月], 海洋時報 (神戸海洋气象台), 1941.3, pp423-429, (国立国会図書館デジタルコレクション 10.11501/1469671) (海ト)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1469671?tocOpened=1>

進徳丸第三十四次遠洋航海表面水観測結果一【昭和 16 年(1941)6 月~8 月】, 海洋時報 (神戸海洋气象台), 1943.3, pp170-177, (国立国会図書館デジタルコレクション 10.11501/1469672) (海ト)

<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1469672?tocOpened=1>

進徳丸遠洋航海表面水観測結果, 神戸海洋气象台, 1939.3 (海ト)

上瀧昭六, 練習船「進徳丸」の思い出, 海の気象, 1990.1, pp28-30. (海ト)

【史実関連 法人文書リスト : 神戸商船大学重要史料として海事科学研究科総務企画グループから神戸大学文書史料室に移管準備中】

進徳丸の設定について・会計課長 (B4 版白綴, 進徳丸の保存・利用について, 進徳丸設定について等) 1966.4

進徳丸関係綴・管理係 (B5 版黒ファイル, 浮標, 摩耶埠頭係留, 繫船索見取り図等), 1965.3.16~1967.4.1

進徳丸関係綴・管財係 (B5 版黒ファイル, 神戸市との覚書, 進徳丸設定工事の委託, 進徳丸設置基礎工詳細図等), 1967

進徳丸設定関係 (契約他)・50 記念会 (B5 版黒ファイル, 進徳丸設定工事の委託, 検査調書, 設定工事の完成, 進徳丸一般配置等図面 7 葉等), 1967

進徳丸設定関係・管理係 (B4 版ピンクファイル, 進徳丸保存協議, 据え付け場所概略図, 保存の補助金, 申請方法, 進徳丸保存に関する趣意書等), 1964~1967 頃

進徳丸設定工事関係記録写真 (3 冊), 1962~1967

進徳丸図面 (一般配置図, 容積図, 排水量等曲線, 喫水変化図表, 推進機螺距実測表), 1956

進徳丸重要書類 (茶封筒, 船燈仮証明書, 汽缶安全弁封鎖鍵, 船燈検定証明書, 船長室・事務長室金庫鍵)

進徳丸重要書類 (茶封筒, 鎖検査試験証明書, シャックル検査試験証明書, 船舶用錨鎖検査成績証明書, アンカーシャックルピン材料試験成績表)

## 【神戸商船大学海事資料館研究年報（現 神戸大学海事博物館研究年報）リスト】

半澤正男, 進徳丸とわが国海洋物理学の青春時代—今に生きる処女航海表面海洋観測の成果, 海事資料館年報, Vol.12, 1984, pp1-5.

[http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle\\_kernel/81005922](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/81005922)

杉浦昭典, 「練習船進徳丸史」余滴, 海事資料館年報, Vol.17, 1989, pp21-23.

[http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle\\_kernel/81005761](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/81005761)

杉浦昭典, 「練習船進徳丸史」余滴(2), 海事資料館年報, Vol.18, 1990, pp1-2.

[http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle\\_kernel/81005765](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/81005765)

定兼廣行, 進徳丸の船体と艀装品の設計図面, 海事資料館年報, Vol.26, 1998, pp11-15.

[http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle\\_kernel/81005694](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/81005694)

鈴木三郎, 進徳丸メモリアル, 海事資料館年報, Vol.26, 1998, pp16-19.

[http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle\\_kernel/81005695](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/81005695)

本田啓之輔, 追憶に刻む進徳丸賛歌, 海事資料館年報, Vol.30, 2002, pp12-14.

[http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle\\_kernel/81005727](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/81005727)

松森慶三, 進徳丸実習生の新聞"Training ship"発行の思い出, 海事資料館年報, Vol.30, 2002, pp15-16.

[http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle\\_kernel/81005728](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/81005728)

矢野吉治, 神戸大学深江キャンパスの沿革 : 教育施設などのトピックスを中心に, 海事博物館研究年報, Vol.44, 2016, pp10-19.

[http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle\\_kernel/81010319](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/81010319)

## 【神戸大学海事博物館 関連所蔵品リスト】

練習船進徳丸模型

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=302](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=302)

進徳丸写真

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=210](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=210)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1686](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1686)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1832](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1832)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1833](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1833)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1834](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1834)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1835](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1835)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1836](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1836)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1837](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1837)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1838](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1838)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1839](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1839)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1840](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1840)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1841](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1841)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1842](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1842)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1843](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1843)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1844](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1844)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1845](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1845)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1846](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1846)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1847](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1847)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1848](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1848)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1849](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1849)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1850](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1850)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1851](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1851)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1852](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1852)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1853](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1853)

進徳丸帆走模型完成の経緯

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1690](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1690)

進徳丸トラック（避雷針）

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=299](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=299)

進徳丸の舳ヘッド船首（飾り）

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=2475](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=2475)

初代進徳丸で使用した双眼鏡

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1354](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1354)

リギン（索具）端キャップ

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1408](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1408)

[http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet\\_no=1409](http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/shiryoudet.cgi?shiryoudet_no=1409)

時鐘、スカツル（丸窓）、ジガーマスト、大錨、中錨、錨鎖、プロペラ、プロペラシャフト、汽笛、船名符字、舵輪、船長公室（一部）、ベーシン、学生居室（一部）、主機関（蒸気レシプロ機関）、帆船進徳丸航跡図、ビーム（船殻梁）、デッキライト（ガラス窓）

【関連新聞記事リスト】（神戸大学附属図書館デジタルアーカイブ新聞記事文庫）

神戸高等商船記念式：寄附者川崎男の祝辞：十八日は父兄一般に開放，神戸新聞，1924.5.18

[http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/G0000003ncc\\_J0009532](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000003ncc_J0009532)

神戸高等商船校が深江から姿を消す：東京に移して僚校と合併 その跡に地方商船校を統轄：海員失業対策として猛運動を起さん，神戸又新日報，1931.7.20

[http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/G0000003ncc\\_J0011042](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000003ncc_J0011042)

海と陸でモシモシ：日満、台内両航路船全部と通話：無線日本に揚る凱歌，神戸新聞，1937.6.22

[http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/G0000003ncc\\_00471275](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000003ncc_00471275)

海の先生を養成：百三十日間太平洋上で一苦勞：進徳丸に乗組む二訓導，大阪朝日新聞，1939.5.27

[http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/G0000003ncc\\_J0023620](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000003ncc_J0023620)

一万哩を征服：練習船進徳丸帰る，大阪時事新報，1939.10.11

[http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/G0000003ncc\\_J0011784](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000003ncc_J0011784)

教壇に生かす海の体験：進徳丸に便乗した両訓導：海の子元気に帰る，神戸新聞，1939.10.12

[http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/G0000003ncc\\_J0023710](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000003ncc_J0023710)

燦たり日本新記録：僅か十六日目にポナペ港着：進徳丸に挙る凱歌，大阪毎日新聞，1940.2.7

[http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/G0000003ncc\\_00463211](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000003ncc_00463211)

黒潮衝いて：進徳丸便来記：真陽校訓導中山行輝，神戸新聞，1940.2.28－1940.3.7

[http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/G0000003ncc\\_00322111](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000003ncc_00322111)

進徳丸出帆：きょう遠洋航海へ，大阪毎日新聞，1940.6.19

[http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/G0000003ncc\\_J0011834](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000003ncc_J0011834)

海務院(仮称)新設：全船舶を一元的運航：海の臨戦体制，大阪毎日新聞，1941.9.12

[http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta\\_pub/G0000003ncc\\_10117859](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/G0000003ncc_10117859)

【一般社団法人海洋会 会誌 関連記事リスト】

一般社団法人海洋会・海洋アーカイブス

<https://smms.kktcs.co.jp/kaiyokai/member/Main.htm>

伊藤辰雄，進徳丸乗組生徒の観察したる「ポナペ」島，商船学校校友会誌，第450号，1937.7，pp73-75.

伊藤辰雄，練習船進徳丸の東京寄港に就いて，商船学校校友会誌，第454号，1937.11，pp27-34.

練習船進徳丸記念号，海洋，第622号，1963.9.

渡辺加藤一，大成丸と進徳丸の命名，海洋，第741号，1985.8，pp30-31.

井上篤次郎，初代進徳丸の解体撤去について，海洋，第793号，1995.8，pp12-13.

-----

<問合せ先>

神戸大学 海事科学研究科 海事博物館

専門員 内田誠 (神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館内規に基づき研究科長指名)

[uchida@maritime.kobe-u.ac.jp](mailto:uchida@maritime.kobe-u.ac.jp) / 078 - 431 - 6295

事務室 (月水金の午後のみ)

[siryokan@maritime.kobe-u.ac.jp](mailto:siryokan@maritime.kobe-u.ac.jp) / 078 - 431 - 3564

館長・専門員 矢野吉治 (神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館内規に基づき選考・研究科長指名)

[captiano@maritime.kobe-u.ac.jp](mailto:captiano@maritime.kobe-u.ac.jp) / 078 - 431 - 6336

神戸大学 海事科学研究科

総務企画グループ

[gmsc-soumu@office.kobe-u.ac.jp](mailto:gmsc-soumu@office.kobe-u.ac.jp) / 078 - 431 - 6206

<検索>

神戸大学海事科学研究科海事博物館所蔵品検索

<http://www.museum.maritime.kobe-u.ac.jp/search.html>

神戸大学附属図書館蔵書検索 (OPAC) : 海事博物館蔵書を含む

[https://op.lib.kobe-u.ac.jp/opac/opac\\_search/?lang=0](https://op.lib.kobe-u.ac.jp/opac/opac_search/?lang=0)

神戸大学附属図書館デジタルアーカイブ新聞記事文庫

<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/sinbun/>

国立国会図書館デジタルコレクション

<https://dl.ndl.go.jp/>

国立国会図書館オンライン

<https://ndlonline.ndl.go.jp/>

以上